

# SDN-IoT によるホームネットワークの QoS 向上

## Improvement of QoS of Home Network Using SDN-IoT

国本 典晟 / Tensei Kunimoto



図1 悩む男の子

### 1 はじめに

近年, IoT デバイスの急激な増加により, ホームネットワークの帯域が逼迫している。

### 2 関連研究

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を使いこなすにあたり, 図表の活用は重要である。基本的には LaTeX Wiki [1] を参考にすれば問題ない。

#### 2.1 図

図を挿入する場合は, 図1や図2のように引用することができる。図の横幅が大きい場合は, 図2のようにすることもできる。

ちなみに, L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X ではベクターファイルとして EPS ファイルを推奨していた頃もあったようだが, 現在は PDF ファイルを使用することが推奨されている。PDF ファイルに出力するのが前提なら, dvipdfmx では PDF, PNG, JPEG がそのまま使用できる。dvipdfmx は EPS ファイルそのものを自分で扱えないので, Ghostscript を内部で呼び出して変換する。PDF ファイルで問題がなければ EPS にこだわる必要はないと思われる。ただし, ジャーナルによっては図として PDF を使うのがダメだったりするので慎重に。

#### 2.2 表

表は表1のように引用することができ, 表を作成する場合は罫線を少なくすることと, 横線のみを使用を心がける

表1 代表的なデータの型

データの型	宣言	ビット幅
短整数型	short	16
整数型	int	32
単精度浮動小数点型	float	32
倍精度浮動小数点型	double	64

ことが推奨される。

### 3 提案手法

1. 書かれた論文は書いた人の研究者としての人格を表す
2. データのみ出して論文を書かない者は, テクニシャンである
3. データも出さず, 論文 (原著論文) を書かない者は, 評論家である
4. 研究者は論文を書くことによって成長する。また, 成長の糧にしなければならない
5. 論文は研究者の飯のタネである
6. 論文は後世の研究に影響を与えなければならない
7. 研究者は書いた論文に責任を問われる
8. 忙しくて論文が書けないというのは, 言い訳にはならず, 能力がないといっているのと同じである
9. 博士論文以上の論文を書けない者は, その博士論文は指導教官のものといわれても仕方がない
10. 研究において最も重要なのはアイデアであり, それが試されるのが論文である

### 4 評価

### 5 今後の課題

#### 参考文献

- [1] LaTeX Wiki (<https://texwiki.texjp.org/>).
- [2] 渡辺 豊, "角皆静男先生のご逝去を悼む", 地球化学, vol.50, no.1, pp.1-3, 2016.



図2 ドライブする家族